

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2004-154376(P2004-154376A)

【公開日】平成16年6月3日(2004.6.3)

【年通号数】公開・登録公報2004-021

【出願番号】特願2002-323330(P2002-323330)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 8/06

A 6 1 B 5/022

A 6 1 B 5/0285

A 6 1 B 5/145

【F I】

A 6 1 B 8/06

A 6 1 B 5/14 3 1 0

A 6 1 B 5/02 3 3 7 A

A 6 1 B 5/02 3 4 0 H

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月8日(2005.7.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生体表面から生体内部の血液に波動を送受信して、生体内部を循環する血液の循環動態を検出する循環動態測定装置において、前記循環動態を検出する循環センサと、前記循環センサを駆動させる駆動部と、前記循環センサからの信号を受信する受信部と、前記生体の血圧を測定するための血圧測定部と、前記血圧測定部から得られる血圧に関するデータを用いて前記循環動態に関する処理プログラムを実行する信号演算部と、前記循環動態に関する結果を出力する出力部を有し、前記信号演算部が、前記生体内の血管を流れる血流速度と相關する値と、前記血圧測定部から得られる血圧値及び補正係数を用いて算出した平均血圧値を用いて血液レオロジーを求める特徴とする循環動態測定装置。

【請求項2】

請求項1に記載の循環動態測定装置において、前記信号演算部が、前記血流速度を求めるときに前記循環センサが計測した血管の血管径を用いて前記補正係数を求め、前記補正係数を用いて算出した平均血圧値と、前記生体内の血管を流れる前記血流速度と相關する値を用いて血液レオロジーを求める特徴とする循環動態測定装置。

【請求項3】

請求項2に記載の循環動態測定装置において、前記信号演算部が、前記血圧値から求まる最低血圧値と最高血圧値を用いて、前記平均血圧値をPm、前記最低血圧値をPd、前記最高血圧値をPs、前記補正係数をCとすると $Pm = Pd + (Ps - Pd) / C$ で表される式によって算出した平均血圧値と、前記生体内の血管を流れる前記血流速度と相關する値を用いて血液レオロジーを求める特徴とする循環動態測定装置。

【請求項4】

請求項1から請求項3のいずれかに記載の循環動態測定装置において、前記信号演算部が、前記血流速度と相關する値に前記平均血圧値の逆数を掛けて血液レオロジーを求める

ことを特徴とする循環動態測定装置。

【請求項 5】

請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の循環動態測定装置において、前記循環センサが前記血圧測定部内部にあることを特徴とする循環動態測定装置。